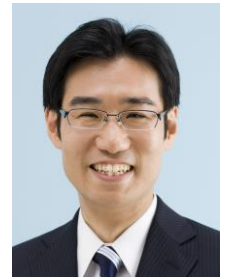


荒川区議会議員 「体は細いが、芯は太い。」

清水ひろし

からの手紙

第 89 号



令和 4 (2022) 年 4 月

新年度が始まりました。新型コロナウイルス発症から 2 年以上が経過をしました。この間、誰もが日常生活や行動への制限を余儀なくされました。また、世界情勢も混沌としています。安心した日常が戻ることを願っています。今号では区議会 2 月会議の質疑や新年度予算の概要について掲載致します。

今日の数字？

9 億 7000 万円

本会議及び予算委員会における質疑

—南千住汐入地区ついて—

質問 汐入地区の都営住宅 1 階の店舗に空きがある。都の仕組みでは、店舗部分の返還や貸出は不可となっている。空き店舗対策に取り組んでいる現場自治体として、利用が出来るよう都と協議を行うべきではないか。

答弁 この店舗は再開発前から商業を営んでいた方のために設置された経緯はあるが、現状には課題があるため都と協議を行っていく。

質問 汐入地区の人口も減少傾向に入っている。保育園が不足し、学校を新設した時期から局面が変わってきた。各所管課だけではないエリアマネジメントの視点が必要ではないか。

答弁 再開発事業から期間が経過し、地域需要も変化している。中長期的視点をもって関係機関と連携して取り組んでいく。

—特別支援教育 「自閉症・情緒障害特別支援学級」の設置について—

質問 特別支援学級・教室の在籍者数は大きく増加している。自閉症や情緒障がいによって通常の集団学級では学ぶことが困難な児童・生徒を対象に「自閉症・情緒障害特別支援学級」を設置し、よりきめ細かい指導を行うことが必要ではないか。

答弁 同じ障がいの子どもたちが少人数で細やかな指導を日常的に受けることができる。しかし、一方で検討課題もある。都内先行実施自治体の状況等の把握をしていきたい。

図書館の開館時間が早くなります

5 月 1 日より、図書館の開館時間が 30 分早まり 9 時開館となります。ゆいの森と南千住・尾久・町屋・日暮里の各図書館です。

なお、汐入・冠新道のサービスステーションはこれまで通り 9 時 30 分開館です。



今日の数字？ 9 億 7000 万円：ふるさと納税によって令和 4 年度歳入減となる荒川区特別区税の金額。本来は特別区税として 193 億 700 万円の歳入が想定されるが、ふるさと納税制度利用によって 5 % 以上歳入減となる見込み。都内 23 区合計では令和 3 年度において 531 億円が減収する状況となっており、23 区の区長会は国に抜本的な見直しを求めています。

新年度拡充事業（一部抜粋）

—新型コロナウイルス感染症対策—

- PCR等検査体制の確保・・・総合スポーツセンター、アクト21の区施設等における検査期間を延長する。
- 病床確保事業・・・入院が必要な陽性患者の受入れのために区として病床を確保する。

—子育て・教育—

- 多胎児世帯支援・・・産前産後の家事育児ヘルパー利用助成や、タクシー利用助成を5歳児まで拡充する。
- 学童クラブの定員拡大・・・ひぐらし学童クラブなど定員拡大をはかり、全定員2025名→2085名とする。

—産業—

- 事業・業態転換等支援、新商品開発経費支援・・・事業転換に要する費用の1/2（上限100万円）、SDGsへの取り組みとなる新商品開発経費の2/3（上限250万円）を補助する。
- 商業事業者のデジタル化支援・・・ECサイト構築やキャッシュレス決済、デジタルツールの導入費用などの1/4（上限100万円）を補助する。

—防災・街づくり—

- 防災スポットの整備・・・現在16か所ある防災スポットを、密集市街地に小規模なオープンスペースとして整備する。新たに4か所整予定。

—区施設などのオープン—

- あらかわ遊園・・・4月21日から（感染対策のため事前予約制）
- 東尾久本町通りふれあい館（東尾久2-37-14）・・・4月1日から
- ひぐらしふれあい館（東日暮里6-28-15）・・・4月1日から
- 宮前公園（隅田川から都電通りまでのエリア）・・・4月1日から
- 令和あらかわクリニック・・・4月1日から、女子医大病院跡地に災害拠点病院として開院。



荒川区令和4年度予算 -基金残高は51億円減-

区分	令和4年度	今年度比増減額・率
一般予算	1072億円	12億円・1.1%
国保特会	230億円	7億円・2.9%
後期高齢者医療特会	53億円	3億円・6.2%
介護保険特会	187億円	7億円・4.1%
合計	1542億円	29億円・1.9%
基金残高	305億円	△51億円
区債残高	181億円	△6億円

歳入特別区税は前年度から6億円増の183億円、また、特別区財政調整交付金も29億円増の406億円と見込まれています。固定資産税、法人住民税の堅調な推移が要因です。

歳出分野別では、福祉や子育て等の民生費が55.4%を占め593億円、衛生費は新型コロナウイルス感染症対策等により前年度比24億円増の83億円を計上し、さらに緊急時対応として予備費も5億円計上されています。

清水啓史（46歳 昭和50(1975)年5/7日生 卯年 A型 おうし座）

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。
平成19(2007)年 荒川区議選初出馬初当選。現在、荒川区議会議員4期目。

荒川区議会では文教・子育て支援委員会、健康・危機管理対策調査特別委員会に所属。区議会会派は「立憲・ゆいの会・無所属」 家族は妻と娘（中2）。



〒116-0013 荒川区西日暮里2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail info@shimizuhiroshi.com